

心の持ちようひとつで、
人は変わることができる。

工藤公康（野球評論家）

□夏が来た！

高校3年生の夏、いろいろな意味で3年生のみなさんがそれぞれの進路に向けて具体的に取り組んでいく時期です。7月1日からは今年度（つまりみなさんの学年を対象とした）求人票の発送が解禁となっています。公務員の出願や一部の専門学校・大学のAO入試のエントリーも始まっています。みなさんの中にも、実際に面接を受けに行ったという人もいることと思います。いずれにせよ、将来について多少なりとも気持ちに焦りを持つ時期です。それは当たり前のこと。逆に焦りのない人は少し焦ったほうがいいのかもかもしれません。

□でも、今できることをしっかりと考えて。

就職の人は面接練習、公務員の人は各種予備校の無料講習など、進路の目標がはっきりしている人は、この夏にやるべきこともはっきりしていることと思います。一方、4年制大学受験をはじめとした、進路決定までまだ時間があるという人の中には、自分の進路に対して不安な気持ちが芽生えてきている、という人もいるかもしれません。進路決定は、やはり大きな問題です。一時の不安な気持ちから、安易な方向に流されるということがないように、今できることは何か、やるべきことは何かをしっかりと考えて実行してください。

□人は変わることができる。

長くプロ野球の世界でピッチャーとして活躍した野球評論家の工藤公康さんが、新聞のコラムで若き日の自分について次のように書かれていました。「…他人にやらされるのではなく、自分から立ち向かっていかななくてはならないのに『どうせオレなんか』とあきらめが先に立っていたのだ。野球の

本場で学んだのは、自分を高めようとする意志だった。ダメな自分を受け入れて、それでも己の可能性を信じ続ける…よくするために何が必要かを考えて、まず動くことだ。とにかくやること。心の持ちようひとつで、人は変わることができる。…」(日本経済新聞2012年5月15日朝刊)

「どうせ自分なんか…」を言い訳にしていませんか？ 本気で取り組めば、人は変わることができます。無理に変わろうとする必要はありませんが、望むのならば、間違いなく「今」がそのときです。

□ 9月実施第3回代ゼミ模試の受付があります。

7月17・19日に、第3回全国センター模試(9月15日実施)の受付があります。7月21日の模試もまだ受けてないのに、と思う人もいるかもしれませんが。大学受験を考える上で、夏休みが持つ意味はとて大きなものがあります。夏休み直前直後の模試を受験することは、自分の学習の進捗状況をはかる上で大変有効です。4年制大学への進学を考えている人は、全員受けるようにしてください。

□ 9月の模試がひとつの目安です。

夏休みの勉強について、何をやればよいかと迷っている人もいるかもしれませんが。秋の初め頃から、過去問などにどんどんと取り組めるよう、この夏の時期にひととおり全範囲に目を通すことが、ひとつの目標となります。あるいは、志望校が決まっている人は、一度過去問に目を通しておくことで、やるべきことがはっきりするかもしれません。どちらにせよ、夏の目標の達成の目安が9月15日の模試となります。受験勉強は完璧を目指すべきものではありません。わかってはわからなくても、とにかくひととおりやりきってしまう。そのことが重要です。それがどんなに薄い問題集であったとしても、やりきることで大きな自信を得ることができます。

□ 高校3年生の夏休みは、人生で1回きりです。

どんな進路を選択するにせよ、高校3年生の夏休みは1回です。とても大切な成長の機会となります。どのように過ごすのか？ しっかり考えて終業式を迎えてください。

学年目標：進路に向けて力をつくし、未来を切り拓く